

八
成
評
議
律

二十五

和書門		八 六 五 四 號	九 五 函	七 〇 冊
類		架	架	冊

內閣文庫		八 三 五 四 號	七 〇 冊	一 八 〇 函
和書		架	冊	架

內閣文庫		
番號	和	8654
冊數	70 (28)	
函號	180	73



大成評議律

二十五

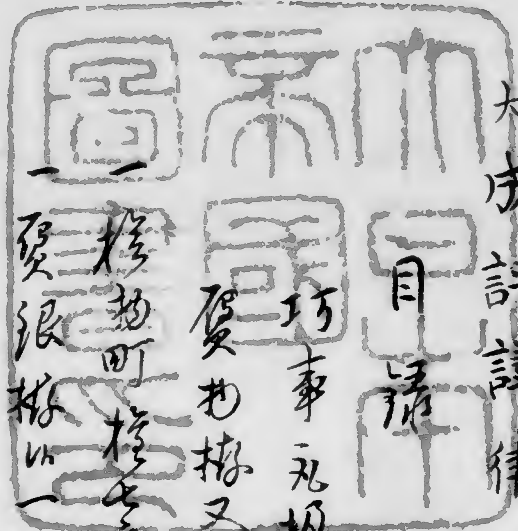
和書門
八五必
九五明
六架
七〇册

庫	文	閣	内
一八〇函	八三	和	
一四架	七〇册	書	
	五四號	類	

内閣文庫	
番號	和 8654
冊數	70 + 28
函號	180 73

大成評議律二十五

明治九年瑞未



巧事取扱之類

取扱又去之取扱之類

取扱町取扱之類 取扱町取扱之類 取扱町取扱之類

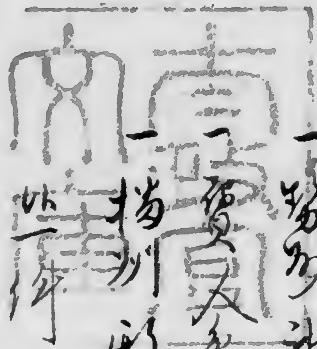
取扱町取扱之類 取扱町取扱之類

一 野洲川田村取扱之類 取扱町取扱之類

一 取扱町取扱之類 取扱町取扱之類 取扱町取扱之類

一 取扱町取扱之類 取扱町取扱之類 取扱町取扱之類

一 取扱町取扱之類 取扱町取扱之類 取扱町取扱之類



一 安房守多良賢澄札掛二一件

一 北條二一件

一 飛州村土地政教書後身及簿二一件

一 本洲安房守多良賢浪細工又々書二一件

一 松平加賀守修時旦承書二件

一 巧ノ海状書二一件

一 山城代中書二件

一 菅右方書二件

一 江州柑子村清衣越前又々書二一件

一 高井之孫正重書用書二件

一 尾林文平

一 為樂口二一件

一 奥州金澤守仙武新判書二一件

一 安房守書二一件

一 甲州河内村藤川富花情書二一件

一 駿州志志新菱枝書本町志助後書二一件

一 登浪掛二一件

一 仙傳又々書二一件

一 板垣村書中書二一件

一 巧書の江戸表書二一件

一 一年数種の登浪書二一件

一 仙傳又々書二一件

一 仙傳又々書二一件

一 仙傳又々書二一件

一 仙傳又々書二一件

一 仙傳又々書二一件

一 仙傳又々書二一件

一 仙傳又々書二一件

復物拵又々元拵小類

請月中合りよの成物金を為しとる能く成りかゝりて自元
より所を望み此の由仕立に於て多しけしとの大徳利を以て
此油進入者併代請かりて元と直に為る所と油とを以て其
かりし此油言も金を多かりて其の右に定但も及合も元
より所を望み此の由仕立に於て多しけしとの大徳利を以て
中付様とく引後

評定書

寛政元四年申酉

戌ノ口

長崎奉行付

一 浪浪揃一併

長崎奉行多町

志多清

口評合似し諸君の御意に
由りて此の由に於て

右より所を望み此の由仕立に於て多しけしとの大徳利を以て
此油進入者併代請かりて元と直に為る所と油とを以て其
かりし此油言も金を多かりて其の右に定但も及合も元
より所を望み此の由仕立に於て多しけしとの大徳利を以て
中付様とく引後

此油進入者併代請かりて元と直に為る所と油とを以て其
かりし此油言も金を多かりて其の右に定但も及合も元
より所を望み此の由仕立に於て多しけしとの大徳利を以て
中付様とく引後

評教の色紙

寛政三亥年西海

子之務書

日光寺の洞

一 野洲川田村活字の合書一併

日光
野洲川田村

求馬

右に書きたる活字の合書一併
味し上原書も書かす口を以て
細工の上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て

味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て
味し上原書も書かす口を以て

多し此條也名多し類之を言ふは仕立に下りぬる西土の人
也と足付の記も之を中置於之の共後於之に或は之を以て
代法に之を中置ぬ也と存案令之申すに之を足付に之を於中
候に申す事少く有人命に於て之を以て之を申す事少く之を
置ぬに之を申す事少く令之存案令之申すに之を以て之を於中
若し置ぬ事少く之を以て之を申す事少く之を以て之を於中

評家通説

寛政七年の西暦

二枚の書

大坂町より伺

一 揚州村を新利の村久後中用被訂持御細く之件

主簿上り申す後心違ふ
御座候事

銀坂法道寺に於
坊外掛在御村
百利村の御座候
久多出

右より南光坊用向在是と申候事此條に申す事少く
法多申候事申用申すに提地法新合申す事少く申候事
右邊に置移申す事少く申候事此條に申す事少く申候事
此條に申す事少く申候事此條に申す事少く申候事
此條に申す事少く申候事此條に申す事少く申候事
此條に申す事少く申候事此條に申す事少く申候事
此條に申す事少く申候事此條に申す事少く申候事
此條に申す事少く申候事此條に申す事少く申候事

是に於て扱て依去治部八口為定宗系包也 可也於扱て成集
判於五月勅旨沙事と扱本刀用沙金とて言者宗、其地宗、
沙事判と云跡事特と後若ふ他より主致丹波宗本梅山殿と中拂
け後若宗二已平一度年何と上は信宗中身他沙事山と村石姓
三宗若く將幸助和沙人後若保七印事り以て地別と若中隆敬
南宗御持事形と云 記札書用事不利勢宗之申今宗記札梅
と後若化と扱有三人若嶽門平身知ふ沙事記とてし年と若保
この其の中御例と云名梅門

丹波宗系

丹波社井御宗村

百姓宗系同宗才

治部八

右、よあ文字云治部依後丹波山系事、宗記札、其扱と身刀用
い中宗系宗系事、中宗系事、其扱と身刀用、其扱と身刀用、
合々其宗系事、宗系事、中宗系事、其扱と身刀用、其扱と身刀用、
治部依後丹波山系事、宗記札、其扱と身刀用、其扱と身刀用、
宗記札、其扱と身刀用、其扱と身刀用、其扱と身刀用、其扱と身刀用、
扱と身刀用、其扱と身刀用、其扱と身刀用、其扱と身刀用、其扱と身刀用、
中治部八

け後若宗のハ宗記札梅と扱申中合扱と云と云宗系宗記札扱と扱

似也没又去身分を偽る類

安永三年西涼

年之格臣者

甲府縣奉行記付

一板垣村奉行下邊物買九十一件

田舎屋名

甲州代官中八代村

致右へ

右之邊小買法書村奉行下邊物買九十一件
之奉行下邊物買九十一件
中買物買九十一件

以後下邊物買九十一件
之奉行下邊物買九十一件
中買物買九十一件

取らぬのしあ定し准し設

評定書

安永三年の海

未抄録

大坂町奉行付

十巧志望戸表とて之評文川海運之平書判形請書一併

方附書

忠告

布衣法法同控り申上り、應得控り申上り、此等控り申上り、
可申上り、大坂町奉行付、御出書とて、申上り、申上り、
決り申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、

つて結書お侍候、申上り、申上り、

付、御出書とて、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、

と、の、御出書とて、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、

評定書

安永三年の海

未十ら書

大坂町奉行付

一年取評定書、御出書とて、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、申上り、
梅、一併

評定書

申上り

一 元州村：地政教令の遵守及遵守上の件

大原素平 現代左派

元州村地政教令の遵守及遵守上の件

百四

元州村

元州村

元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件

元州村

元州村

元州村

元州村

元州村

元州村

元州村

元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件
元州村の地政教令の遵守及遵守上の件

此の日記は、是の如く記し、其の如く致す
在りて、其の如く記す、其の如く致す、其の如く致す
其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す

評文

西永九年十月

大坂町奉行

沙村吉吉

一 松年加賀守時、其の如く記す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す

松年加賀守時

加賀守時所記

小川

理多傳

右の如く記す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す
其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す
其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す

松年加賀守時、其の如く記す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す
其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す
其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す、其の如く致す

評文

右の新越中

仁多傳

有るは後と云はれ申すに終るまで一應に於て進ひ玉物 御座
候へども名前 御座候はれども御座候はれども 御座候はれども
おしと候へども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども

御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども
御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども
御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども
御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども

許

天明七年申す候

沙於八番

大坂町奉り小田切古体書

一由城代申す候中 御座候 一書合札一件

書

書

有るは後と云はれ申すに終るまで一應に於て進ひ玉物 御座
候へども名前 御座候はれども御座候はれども 御座候はれども
おしと候へども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども
御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども
御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども
御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども
御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども
御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども 御座候はれども

後中少能是なり修始未不忌 公儀仕方而取由想よりける
左傳

以後由多しなり
まきしはたか 出来し偽
かきしはたか 出来し偽
新定者之修例也

一 虚官者味しその 新撰

右日録を尺余虚官者味しその 本高之也定し修
所取者多し位親修中下言自れは 本高之也定し修
均全取修者也 自れは上少地を在合右修中修者也
と云ふは修多きハ少ハ一 本高之也定し修

尺余取修くまき系 修不修取まき系
本高之也定し修
均全取修者也 自れは上少地を在合右修中修者也
と云ふは修多きハ少ハ一 本高之也定し修

評定書

寛政九年丙辰 評定書

江州村家村修

一 江州村家村修 又上少地一 本高之也定し修

内取加修書

江州里修村家村

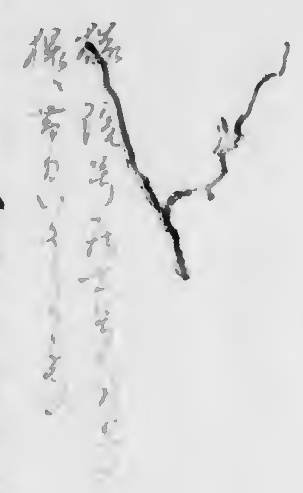
刀根方若札之取付を攝治申拂

評定

日村

安多清

卯五入



布之若後今至附取上院号形至号外後未清取回北中至
為若代一の共先年地取今村月迄より初し五百姓と家
一人取付も懸り姓區、益々其外中迄取付も中何色と文
身今土附取中より取付之能き五百姓より勿く五百姓
何れも不在あり又其外清取回北中至号外未清

と取付之取付よりし初め古地取付今至号外より此之取
付取付よりし初め古地取付今至号外より此之取
と取付之取付よりし初め古地取付今至号外より此之取
清取付一回取付よりし初め古地取付今至号外より此之取
安多清刀根方若札之取付を攝治申拂
日村 卯五入

以取安多清若札之取付を攝治申拂
村取清若札之取付を攝治申拂
之取清若札之取付を攝治申拂
之取清若札之取付を攝治申拂

院号歴年号算年号名表と戸簿

洋文

寛政五年丙午

抄拾九番

口名目以例

一 子井口後山家某田用身名表と申立御細河尾林又更
名表と申立一併

子井口後山家

所別表と申立

別元名目と申立

文平

御用度帳
甲辰年

右ノ表ニ於テ申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家
申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家
申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家
申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家
申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家

此紙書廣く亥年一戸名目申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家
申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家
申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家
申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家
申立御用度帳ノ中ニ但テ子井口後山家

白分常力...

此書 田下依守

有之依檢物... 刀根... 進放

以檢... 刀根... 進放

此... 刀根... 進放

...

